

## 25 仏教聖典へのいざない

〈4コマ〉

しゃく ごとしん  
釈 悟震

中村元記念館東洋思想文  
化研究所副所長  
文学博士  
スリランカ国立ペーラデ  
ニヤ大学客員研究員



〔日 時〕 10月21日(日) 13:30~15:00, 15:20~16:50  
10月22日(月) 10:30~12:00, 13:30~15:00

〔テキスト〕 購入が必要

〔受講料〕 5,800円

(早割 4,800円 ※10月14日までに受講料を納入された場合)

### 【講義の内容】

「八万大藏経」とも言われるほど膨大な仏教の経典。どうして仏教はこれほど経典が多いのか。その理由や真の意味はどこにあるのか。またわたくしどもは、どれだけの経典の内容や意味を理解しているのであるだろうか、等々多くの疑念に対する紐を解くと同時に、われわれの日常生活文化に馴染んでいる仏教をより身近に感じさせ、摩訶不思議なる心の安らぎを覚えさせる講義であって欲しいと願っております。

そこで本講義では、長い間、もっとも難解で親しみやすくない仏教の聖典をわたくしどもが親しみやすくなるように日頃、心血を注いだ中村元博士の数多くの珠玉の教説により『スッタニパータ (経集)』、『ダンマパダ (法句経)』、『般若心経』、『華嚴経』、『法華経』、『維摩経』、『勝鬘経』、『父母恩重経』、『観音経』、『金剛経』など著名な仏教聖典を、説話やエピソードを交えてつづられた『仏教経典散策』を主要テキストとして、より分かり易く、担当講師独自の目線にて仏教聖典への思惟方法を踏まえて、そのいざないを昨年度につづいて順次講じてまいります。

### 【本講義進捗について】

膨大な仏教聖典のなかで、<sup>ぼうだい</sup>仏教伝来約二千有余年という長い歴史を有する日本仏教において親しまれつつ、地球上のいかなる民族も有し難い日本人特有の文化ならびに人間形成を成し遂げた本テキストにあげられた仏教経典の数々に関わる深層の真相を全地球的観点、とりわけ仏教発祥の地、インドおよび漢字文化圏である、中国、朝鮮半島、日本に至るまでを概観するの<sup>がいかん</sup>も、本講義の大きな特徴ともいふべきである由、次年度においても本テキストにとりあげられている経典を順次継続的にすすめられることを念頭において企画された講座であります。